



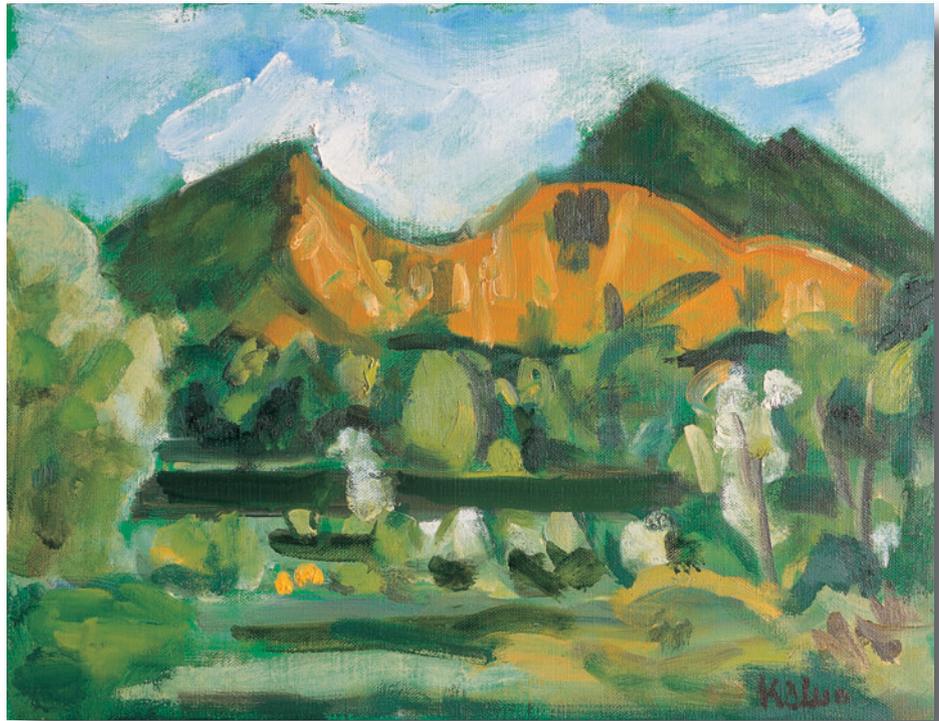
# けんこう 懸 虹

(題字は理事長直筆)

## 特 集

### 64チャンネルCT の紹介

- 高校生職場体験
- 三春町立三春病院グラウンドオープン
- 回復期リハビリテーション病棟運用開始
- 助産師による思春期保健教育へのアプローチ
- セカンドオピニオン外来のご案内
- 施設ニュース
- トピックス



れんげ沼から裏磐梯 (F10、2002)

理事長 星 一雄

醫

靈

「昔結核、今うつ病（吉本隆明）」といわれるように、うつ病は着実に増えている心の病気である。ある統計によれば、一生のうち15%、20%の人が罹患するといわれ、今日では市民権を得た疾患となった。

うつ病の原因は大きく三つに分けられる。①遺伝や素質と関係するもの、②脳や身体疾患から二次的に発症するもの、③性格と環境のからみ（いわゆるストレス性）で現れるものの三つであるが、これらのうち③特に「ディアスチミア性格親和性うつ病」気分変動症が増えている。

筆者が医師になりたての頃、うつ病の病前性格として、「執着氣質」および「メランコリー性格」が重要であると教えられた。両者は同じような性格で、几帳面・正直・勤勉・誠実・凝り性・熱中性：などが特徴的であり、わが国の高度成長時代には模範的とされた性格である。

これに対して「ディアスチミア性格」は、気分易変・自己への愛着・秩序への否定的感情・他罰的・義務からの逃避・私的には活動的などを示す性格をいう。「ディアスチミア性格親和性うつ病」になると、憂うつ気分・不安・意欲の減退などを自分から訴え、仕事よりも自分が大事・社会のルールをストレスと感じる・反省するよりも他人を非難する・休職をためらわない：などといった傾向が強い。

うつ病は社会的な影響を非常に受けやすい病気であるため、うつ病の病態が変わり「新型うつ病」のひとつとして注目されているのである。

沼田 吉彦

# 64列マルチスライスCTについて

CTで、狭心症や心筋梗塞の検査ができるということをご存じですか？

星総合病院では、郡山市では初となる64チャンネルマルチスライスCTを導入し、心臓CT検査を行っています。このCTは、心臓の栄養血管である冠状動脈の撮影に有用で、狭心症や心筋梗塞を診断する最も有用な方法である心臓カテーテル検査と同等の検査結果を入院することなく、外来で手軽に検査することが可能です。

福島県内では当院を入れて8施設で導入されています。

## マルチスライスCTとは

CT（コンピュータ断層撮影法）は、筒状のCT装置の中にX線管球（X線を出す部分）と検出器が配置され、回転しながら撮影を行う装置です。従来のCT装置は、一列の検出器にデータ収集システムが搭載されていましたが、これを、多数の検出器列、多数のデータ収集システムにより、1回転のスキャンで多数の断層像を得ようというものが、「マルチスライスCT」です。近年は技術の向上から、検出器は4列、8列、16列、32列、64列と進化し、最近では256列CTや320列CTも登場しています。

## CTの歴史

### <世界の流れ>

- ・1972年 ハンスフィールド（英国）によるCT開発
- ・1987年 スリッピングの導入による連続回転CT開発
- ・1998年 4列CT発売
- ・2001年 16列CT発売
- ・2003年 64列CT発売

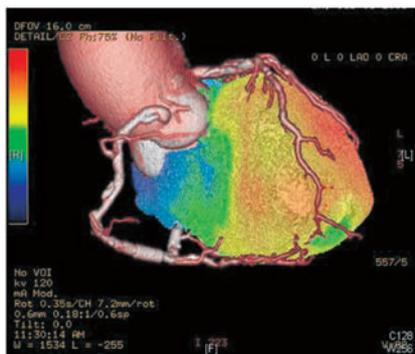
### <当院の流れ>

- ・2004年 16列CT導入
- ・2008年 64列CT導入



## 64列マルチスライスCTのメリット

従来のCTより撮影速度が速く、短時間で広範囲の高精細な立体画像を撮影することができます。また、当院の従来機種である16列マルチスライスCTに比べ、撮影の際息止め時間が30秒から約半分程度にまで短縮されました。さらに患者さんの体格・撮影部位・検査目的に応じて、必要最小限の被ばく線量となるシステムを備えているため、安心して検査を受けていただけます。



「Card iq fusion」による画像

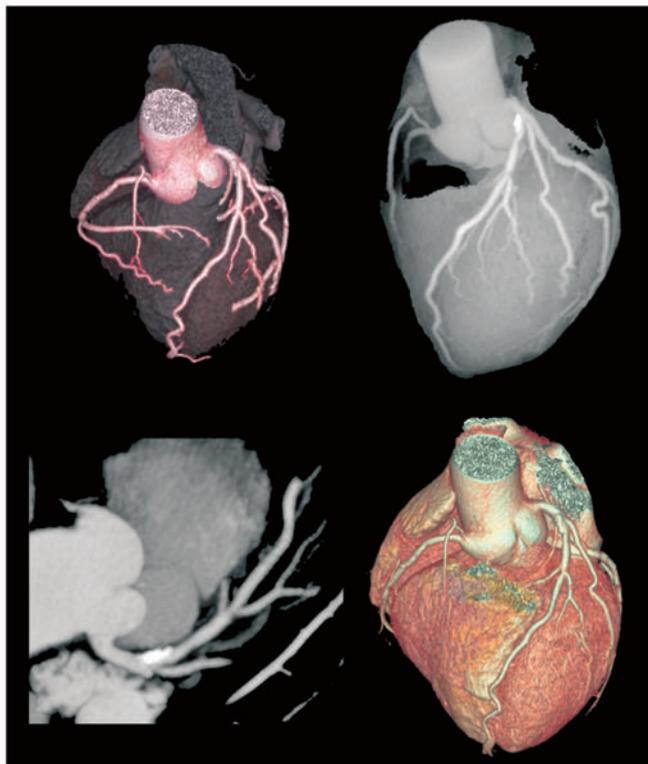
また当院では、東北で初、全国では8施設目となる「Card iq fusion」というソフトウェアも搭載しました。これは、造影撮影された心臓CTの画像と、核医学検査によって得られた画像を3D画像で融合させるもので、より詳細な診断が可能となります。

※核医学検査とは…微量の放射線を出す放射線医薬品を体内に投与し、身体の状態を画像化して診断する検査のこと。

### 心臓・大動脈などの検査に有用

近年の最新鋭のCTでは、脳血管・大動脈・下肢動脈のみでなく、心臓の栄養血管である冠状動脈の画像化が可能となっています。

従来、冠状動脈の病変を見るためには、心臓カテーテル検査が必要でした。現在全国で年間10万人ほどの患者さんに行われている検査ですが、合併症として約0.01%の方が脳梗塞や不整脈等で亡くなることがあります。心臓CT検査は体にカテーテルを入れる必要はありませんので、出血の危険性はありませんが、検査に使用する造影剤で10万人に1~2名の方は体に合わず、副作用が出ることがあります。共に100%安全な検査ではありませんが、体にかかる負担はやや心臓CTの方が少ないものと思われます。



心臓CT検査で撮影した高精細な心臓の立体画像

### 64列マルチスライスCTによる心臓CT検査の適応となる方

- 心臓カテーテル検査を受けるまでではないが、狭心症等の可能性を否定できない
- 認知症がない（息止めの指示に従える方）
- 15秒以上の息止めが可能であること
- 造影剤アレルギーがないこと

ただし、次の方は心臓CT検査に適しません。医師の指示に従ってください。

- ・ 認知症があり、息止めの指示に従えないような方
- ・ 動脈硬化が強すぎる方（腎不全、透析患者、甲状腺疾患、ステロイドを使用している方などは石灰化が強すぎて血管内が見えないことがあります）
- ・ 造影剤が使えない方（造影剤アレルギー、腎不全など）
- ・ 妊婦（レントゲン検査ですので、放射線被曝を受けます） など

### 費用について

健康保険の適用となりますが、自己負担分は、3割負担で1万5千円程度となります。

検査は完全予約制となっています。狭心症症状かな?とお悩みの方は、一度当院循環器科を受診のうえ、主治医にご相談ください。

# 「高校生の職場体験」を開催しました 8月7日

星総合病院において高校生の職場体験を開催しました。将来医療人を目指す高校生が、希望する職業を実際に体験することで、進路を判断することができるよう昨年から開催し、今回で2回目となります。郡山市や須賀川市などの高校1～3年生計85名が参加しました。



## 9:00～9:45 病院で働く職種および 奨学金についての説明



実際に医療の現場を体験するにあたり、各職種の仕事の概要を説明。また今後進学する上で参考となる、奨学金についての説明を行いました。



## 9:45～10:15 白衣体験



憧れの白衣やナースキャップを身につけ、ちょっと照れながらもうれしそうな表情を浮かべる高校生。



## 10:20～12:30 職場体験

職場体験は2部構成で実施。参加者は希望する職種2種類を1時間ずつ体験しました。なんとなくいいなと思っていた職種を実際に体験することで、仕事内容の具体的なイメージができ、職種への理解が深まったようです。



助産師



作業療法士



診療放射線技師



歯科衛生士



臨床検査技師



臨床心理士

### 体験職種 (計16種類)

薬剤師、保健師、助産師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、歯科技工士、歯科衛生士、管理栄養士、社会福祉士、臨床心理士



## 12:30～ 記念写真撮影

背景を診察室に見立て、白衣姿で記念撮影を行いました。聴診器やシリンジを手に、笑顔でハイチーズ。写真は、後日それぞれの高校に郵送させていただきました。



## 参加者からの声

- ・とてもためになる体験ができた。職種に対する理解が深まった
- ・医療の現場で働きたいという思いが強くなった
- ・学んだことを自分の進路決定に活かしていきたい
- ・改めて医療の道に進んで仕事がしたいと思った

# 三春町立三春病院

## 三春町立三春病院がグランドオープンしました

町立三春病院の新病院外構工事が8月末に完了し、9月にグランドオープンを迎えました。9月18日、三春交流館まほらで「グランドオープン記念式典」を開催し、関係者等約200名の出席がありました。鈴木義孝町長、渡辺直彦病院長の挨拶が行われ、ご来賓の方々より祝辞をいただきました。また、新病院建設へご尽力された方々に対し感謝状が贈呈されました。



駐車場は204台の駐車スペースを確保。正面玄関前にはロータリーが整備されました。

### 感謝状受賞者 (敬称略)

武田英男(三春町区長会長) 西山忠元(西山医院院長・三杏会会長)  
葛西龍樹(福島県立医科大学 地域・家庭医療部長)  
清水建設株式会社東北支店 有限会社宮古建築設計事務所



盛大に開催された落成式



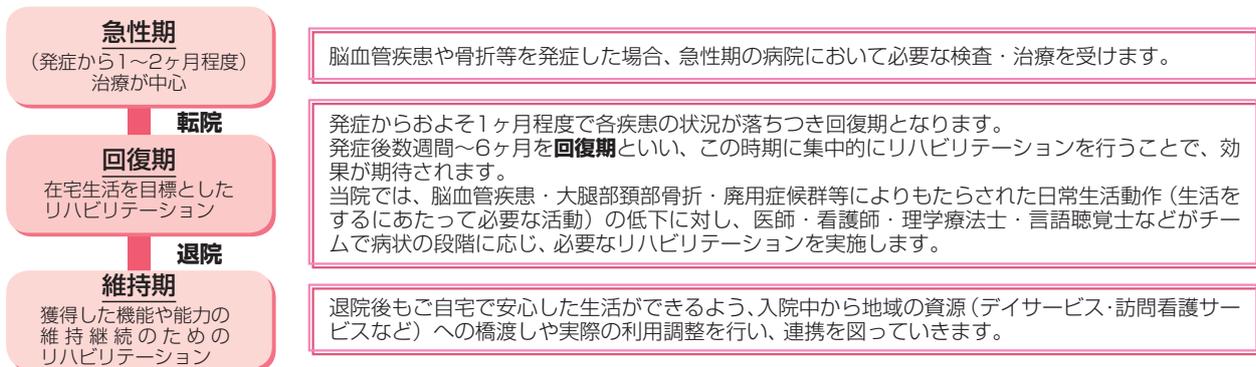
記念シンポジウムのような様子

引き続き、福島県立医科大学地域・家庭医療部長の葛西龍樹教授をコーディネーターに、「地域医療を考える」と題した記念シンポジウムを開催。渡辺病院長を含む4人のパネリストとともに地域医療の在り方についてディスカッションが行われました。

## 10月から「回復期リハビリテーション病棟」の運用を開始いたしました

脳血管疾患や骨折などによる日常生活動作(生活をするにあたって必要な活動)の低下に対し、医師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士などが協働で、患者さん一人ひとりの状態に合わせてリハビリテーションを行い、家庭復帰を目指します。また、退院後も安心して生活ができるよう、入院中から地域の資源(デイサービス、訪問看護サービスなど)への橋渡しや実際の利用調整を行い、患者さんが住み慣れた所で生涯いきいきと楽しく生活できるよう支援していきます。

### ● 回復期リハビリテーションの流れ



### ● 対象となる患者さん

脳血管疾患(高次脳機能障害を含む)、脊髄損傷等の発症又は手術後2ヶ月以内  
大腿骨、骨盤、股関節などの骨折等の発症又は手術後2ヶ月以内  
外科手術および肺炎等治療後の安静により廃用性症候群を有しており、手術後又は発症後2ヶ月以内  
大腿骨、股関節等の神経、筋又は靭帯損傷後1ヶ月以内

### ● 回復期リハビリテーション病棟スタッフ

医師・看護師・ケアワーカー(介護職員)・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・薬剤師・管理栄養士・ソーシャルワーカー



専門スタッフが対応します。



退院後の生活を想定した炊事・入浴等の訓練も実施します。

### ● 申し込み方法

現在入院している病院の医療ソーシャルワーカー(相談員)もしくは看護師にご相談の上、お申し込み下さい。

治療中の主治医からの情報をもとに診断内容や治療法等に関して当院の専門医が助言を行う、「セカンドオピニオン外来」を開始しました。概要等をご紹介します。

● **目的**

現在受診している担当医の診断内容や治療法に関して第三者としての当院の専門医の意見・判断を提供することで、患者さんが今後の方針を決定するにあたり、参考にしていただくことを目的とします。

● **概要**

- ・現在の担当医より資料を借用してくるため、新たな検査、処置、治療行為は行いません。  
(通常の診療行為とは扱いが異なります。)
- ・完全予約制となります。
- ・自由診療となります。  
(1回あたり最大60分 21,000円)

● **受診対象者**

- ・患者さん本人を原則とします。ただし、本人の同意書があれば家族でも受診可能です。
- ・現在受診中の担当医から診療情報提供書等の提供が受けられる方に限ります。

● **受診予約**

現在受診中の担当医にセカンドオピニオン希望を伝え、紹介状作成等の了解を得てから、当院地域連携室にご連絡ください。なお、予約決定まである程度時間がかかりますので、受診まで余裕をもって手続きをお願い致します。

● **セカンドオピニオン外来の対象疾患**

診療科	傷病名
循環器内科	心臓血管疾患
内科	糖尿病
消化器内科	膵臓癌、胆のう癌、胆管癌、肝臓疾患（ウイルス性肝炎等）
小児科	小児疾患
外科	乳癌、乳腺疾患、甲状腺疾患
脳神経外科	脳神経外科疾患
整形外科	肩関節疾患、関節リウマチ
産婦人科	産婦人科疾患
皮膚科	アトピー性皮膚炎、尋常性乾癬
心臓血管外科	心臓血管外科疾患
形成外科	形成外科疾患

● **お問い合わせ・ご予約**

星総合病院 地域連携室 024-935-7120 (直通)

## 助産師による思春期保健教育へのアプローチ③

### ～PTAへの健康教室活動～

星総合病院産婦人科病棟 思春期グループ

今回は、PTAに対して行なっている保健教育についてお話しします。

思春期になると親も子供たちも、性に関して会話することを避けるようになります。現状として、性感染症の激増や福島県の10歳代の人工妊娠中絶率全国第3位という背景があり、子供たちだけに保健教育をしてもなかなか解決には結びつきません。

そこで私達助産師は、小学校PTAへの家庭教育学級や授業参観などをワークショップ形式で実施しました。

**内容**

- ① 自分の身体（更年期障害や婦人病など）について
- ② 思春期の現状
- ③ 性行動の変化
- ④ 福島県の思春期動向 など

**参加者の感想**

- ・「現在の思春期の動向がこんなにも荒んだものかということを知らなかった」
- ・「もっと子供と話し合う機会や時間を持たなくてはならないと思った」
- ・「他の人も同じようなことを悩んでいたということがわかって安心した」
- ・「今後ももっとこのような機会を設けたい」などの意見が聞かれました。

思春期の子供を持つ親たちは悩みを相談する場所がなかなかなく、また友人や同級生の親同士では話しにくい内容ということもあり、積極的に参加されました。保健教育の内容は情報の提供や正しい知識の共有が主な点ですが、ワークショップ形式の導入で、同じ年代の子供を持つ親たちがどのように考え、対処しているかを参加者自らも考え、子どもへの接し方・関わり方を学ぶ良い機会となっているようです。

親子の対話時間は、幼児期に多かったのに対し、就学して高学年になるにしたがって減る傾向にあります。このような時期にある小中高生を持つ親たちへアプローチし、妊娠期間中お腹の中の子に対して抱いていた想いや出産時の感動を呼び起こし、一緒に思春期保健教育について考えていきたいと考えます。PTAの皆様への健康教室の依頼をお待ちしています。  
(上級思春期保健相談士 圓谷)



**お申込み・お問合せ TEL 024-935-7363 (星総合病院健診室保健師)**

# 施設ニュース

## 星ヶ丘病院

### ボランティアコンサート

9月20日

「星の丘物語」と題して、平成19年から行っている星ヶ丘病院ボランティアコンサート。7回目となる今回は、星ヶ丘病院沼田吉彦院長も所属している「福島男声合唱団」をお招きし、「春の小川」や「赤とんぼ」など計12曲を披露していただきました。会場となったC棟食堂には約200名の患者さんが集まり、男声コーラスならではの力強く繊細で美しいハーモニーに聴き入っていました。



### 星ヶ丘フェスタ

～きらり笑顔のハーモニー～

10月11日

患者さんやご家族、ボランティアの方々など約700名が参加しました。地元団体による大正琴や、よさこい、ひょっこり踊りの披露、法務局の人権擁護委員協議会による人権宣言PRなどが行われました。会場内には出店が設けられ、参加者は賑やかな雰囲気の中、様々な催しを楽しみました。



## ポラリス保健看護学院

### 学院説明会

8月9日

### 第12回北極祭

10月25日

平成20年度の学院説明会を開催し、県内外から高校生やその父兄など131名が参加しました。学院での教育内容、学院生活、入学試験についての説明のあと、実際に校内見学が行われました。また血圧測定や採血、足浴、食事介助など各種演習体験もあり、学生との談話コーナーでは、具体的な質問が出されていました。



「第12回北極祭」を開催しました。今回のテーマは「エエコとしよう！ポラっ子エコ宣言」。25日の一般公開では、看護学校ならではの白衣体験や高齢者体験、健康チェック、足浴、その他ミニコンサートやダンス発表など、内容盛りだくさんで行われました。また食べ物の模擬店では、器や箸に貸出し食器を使用するなど、テーマにちなんで環境に配慮した取り組みも実施しました。地域の方々など204名にお越しいただきました。



## 三春町立三春病院

### 作品展示コーナーを設置

三春病院では、患者さんへの癒しの提供を目的として、1階健診センター前待合ホールに「作品展示コーナー」を設けています。これまでに、絵や書道などの作品を掲示し、患者さんやご家族の皆さんにご好評いただいております。

#### 展示作品大募集

ボランティアでの作品出展を随時募集しております。特にジャンルは問いません。ご協力いただける方は、下記までご連絡ください。  
三春町立三春病院 0247-62-3131(代)



## 介護老人保健施設オリオン

### 郡山理美容協会カットボランティア

9月8日

敬老の日になみ、郡山理美容協会に所属する理容師・美容師の方々9名がオリオンを訪問し、ボランティアでヘアカットのサービスをしてくださいました。

カットを終えた入所者約50名の方々は、鏡に映ったさっぱりと整った髪を見て、とてもうれしそうな表情を浮かべていました。



## 芳賀・小原田地域包括支援センター

### 健康教室

9月16日・17日

9月16日・17日に、それぞれ芳賀公民館、小原田公民館において、郡山市介護保健課運動指導員の宗像紗弓さんをお招きし、「転ばないためのヒミツ～自分の足いつまでも～」と題した健康教室を開催しました。高齢期の転倒を予防するために行う運動の大切さについて、簡単な筋力トレーニングを行いながら、わかりやすくお話していただきました。



## 星ヶ丘保育園夏祭り (8月9日)

園児・父兄など130名が参加しました。園児たちが音楽に合わせて元気いっぱい盆踊りを披露。また、父兄や保育士も参加して、箱の中身を当てる当てっこゲームを行い、大いに盛り上がりました。かき氷・焼きそばなどの出店もあり、にぎやかで楽しい夏祭りとなりました。



## 看護功労者表彰式 3名が受賞

6月18日、(社)看護協会総会(ビッグパレット)において、看護功労者表彰が行われました。長年にわたる看護への功労が認められ、当法人看護職員が受賞しました。

優良看護(永年)職員職員表彰

- ・介護老人保健施設オリオン 准看護師 菊地 光枝
- ・星総合病院 准看護師 佐々木靖子
- ・星総合病院 看護助手 吉田 豊子

## ポラリス保健看護学院 うねめ踊り流し「優秀賞」受賞 (8月2日)

第44回郡山うねめまつりの「踊り流しコンクール」にポラリス保健看護学院が参加しました。学生や教職員が白衣や揃いの法被を着て、若さあふれる元気な踊りを披露し、見事「優秀賞」を受賞しました。



## みはる病院まつりを開催します

日時：平成20年11月15日(土)

午後1時30分～3時30分

場所：三春町立三春病院 屋上特設会場

(雨天の際は室内にて開催します。)



- パワーリハビリ体験
- 健康チェックコーナー
- 町内ボランティアさんによるコンサート
- バルーンアート
- 輪投げコーナー
- とん汁
- やきとり
- コーヒーサービス
- お菓子つかみ取り
- スーパーボールすくい
- バザー など

※内容は一部変更になることもございます。

\*その他、たくさんのイベントを企画しております。ぜひ皆様お誘い合わせのうえご来院下さい!

## 地域行事に参加しました

### 総産土神社夏祭り (7月23日)

星総合病院前の総産土神社夏祭りでのお神輿担ぎに職員3名が参加しました。



### 三春盆踊り (8月15～16日)

2日間に渡って三春町立三春病院職員が救護ブースで参加。また16日には法被を着た法人職員も盆踊りの輪に加わり、地域の皆さんとの交流を深めました。



### 郡山市赤木地区 市民大運動会・球技大会 (8月31日) (10月5日)

星総合病院の職員が所属する町内会の一員として競技に出場しました。



### ご意見をお聞かせ下さい。

ホームページアドレス  
<http://www.hoshipital.or.jp>  
 発行/ 星総合病院  
 編集/ 「懸虹」編集委員会  
 発行日/平成20年10月31日  
 住所/〒963-8501  
 郡山市大町2丁目1-16

先日行われた「赤木地区球技大会」に、星総合病院の所属町内会のメンバーとして私もバレーボールの試合に出場させていただきました。

昨年もお出ししていたので、町内会の皆さんとももう顔なじみ。昨年は勝利に貢献できなかったのが、今年こそは！というリベンジの気持ちで試合に臨みました。攻撃が決まればチームみんな喜び、ミスをすれば「惜しいよ、次頑張ろう」と励まし合い、試合を通してチームワークが深まっていくのを感じ、楽しくプレーすることができました。残念ながら今年も勝ち目は逃してしまいましたが、試合終了後は快く慰労会にも招待していただき、皆さんの温かい心配りがとてもうれしく感じられました。地域の方々との交流を深めることができ、大変有意義な1日となりました。

広報担当 菅野

編集後記